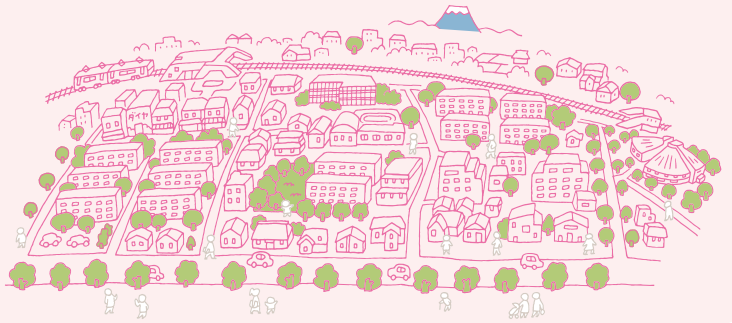


国立市富士見台地域

まちづくり
ニュース 2号

01

クラブサバーブ

～郊外のアフターワークを楽しむ～

富士見台地域のまちづくりでは、地域に関わり続ける人をこれまで以上に増やすため、まちへの関わりを求める新たな世代を対象に「郊外のアフターワークを楽しむ」をテーマとして、富士見台を舞台とした企画づくり「クラブサバーブ※」にチャレンジしました。

企画づくりでは、20～30代を中心とした市内外から集まった約30名の参加者が、すでに富士見台地域を中心に活動する5名の「メンター（相談役）」の設定する「お題」にそって、全3回のワークショップを行いました。



▲クラブサバーブポスター

メンターとお題

人と本が交わる
「トーク・ブック・フェス」
で3商店街をつなぐ



落合加依子氏
(小鳥書房・コナハウス)

中高生が夜遊びできる
場所をつくる



加藤 健介氏
(国立本店・国立人)

富士見台に繋がる
大学通りをアガる
ランウェイにするには？



坂根 千里氏
(スナック水中)

アーケードを楽しむ
食べ歩き
フードコートをつくる



能作 淳平氏
(富士見台トンネル)

桜通りを歩行者天国にして
「ちょっと早く帰りたい」
富士見台を演出しよう



渡邊 翔太氏
(くにたち富士見台人邸環境キーステーション)

02

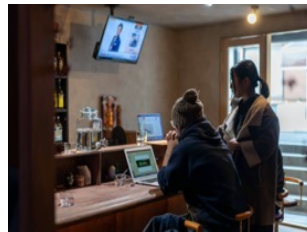
ワークショップでまちに関わる企画アイデアを検討

3日間のプログラム

- ①日目 まちを知る/
11月27日 アイデアを出す
- ②日目 企画を練る
12月10日
- ③日目 発表する
12月17日



▲夜のまちあるき



▲グループごとの話し合い

▲旧国立駅舎で発表
(Youtubeライブ配信)

※ クラブサバーブは、令和3年5月に策定した「国立市富士見台地域重点まちづくり構想」に示した10の重点プロジェクトの1つである、市民まちづくりプロジェクト100（通称「市民100プロ」）のチャレンジ企画として新しい参加の仕組みづくりの取り組みです。

富士見台を舞台とした企画アイデアの紹介

3日間のワークショップを通じて、「自分たちがアフターワークを楽しむ」ための個性的・魅力的な5つのアイデアが生まれました。実現に向けた兆しもあり、今後の展開も楽しみです。

5つの企画アイデアの概要



お題：人と本が交わる「トーク・ブック・フェス」で3商店街をつなぐ

企画タイトル やほんフェス

富士見台第一団地のたまご広場でのオープニングイベント、また、商店街を舞台に、本を切り口にして人と人がつながる仕組みとしての期間限定イベントの実施を提案



お題：中高生が夜遊できる場所をつくる

企画タイトル アソビニ

中高生をターゲットにした移動式コンビニを提案。公園を活用し、居場所づくりと中高生が夜でも安心して集える場づくりの仕組みを提案



お題：富士見台に繋がる大学通りをアガるランウェイにするには？

企画タイトル yapotify

大学通りを歩くときに聞くことができる試聴コンテンツを提案。音源は富士見台にまつわるトークや、独自作成した富士見台ラップなど



お題：アーケードを楽しむ食べ歩きフードコートをつくる

企画タイトル co-fujidan

空き店舗を活用したスタジオ、空き地を活用したシネマ、自販機裏を活用した隠れ家BARなど、既存の空間をうまく使い、商店街の魅力を高める取組みを提案



お題：さくら通りを歩行者天国にして「ちょっと早く帰りたい」富士見台を演出しよう

企画タイトル さくら通りをCHILLリビングへ

さくら通りの歩行者天国化を目指した段階的な社会実験の取組みプロセスを提案。歩道に椅子などを設置するプレイスメイキングから出発する実験的な取組み

アーカイブ動画は
こちらから

クラブサバードアーカイブ動画のご案内

各日の講演動画や、実施内容のアーカイブ動画は、市の公式youtubeチャンネル「国立市チャンネル」でご覧いただけます。

【問合せ先】国立市 都市整備部 富士見台地域まちづくり担当（担当：三澤・布施）

TEL：042-576-2111(内線383) / FAX：042-576-0264 / E-mail：sec_fuji@city.kunitachi.lg.jp

